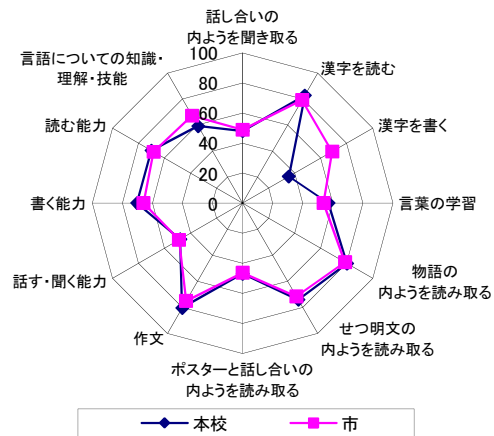


宇都宮市立海道小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	47.9	48.8
	漢字を読む	82.8	79.3
	漢字を書く	35.5	68.8
	言葉の学習	57.0	53.8
	物語の内ようを読み取る	80.2	78.7
	せつ明文の内ようを読み取る	74.2	71.6
	ポスターと話し合いの内ようを読み取る	46.9	46.3
	作文	80.5	75.1
観点別	話す・聞く能力	47.9	48.8
	書く能力	70.3	65.9
	読む能力	70.1	68.4
	言語についての知識・理解・技能	59.3	67.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・宇都宮市と比べて平均正答率は約1%下回った。特に、発表者2人の意見の共通部分を聞き取り、まとめて書く問題の正答率が21.9%と低かったが、市の平均正答率と同等であった。	・聞き方や話し方の基礎基本を教室前面に掲示し、常に意識させていく。また、朝の会でのスピーチや授業での児童同士で話し合う際に、自分が話したいことの中心や相手が話していることの内容を考えながら話したり聞いたりできるようにしていく。
漢字	・宇都宮市と比べて平均正答率は「読み」は約4%上回り、「書き」は約33%も大きく下回った。漢字の「書き」は4題とも第3学年配当漢字から出題されたが、正答率は25%、25%、50%、42.2%とすべて低かった。	・今後も繰り返し漢字の学習を行い、小テストを活用して定着を図っていく。朝の学習の時間や家庭学習で前学年の漢字を復習する機会を増やしていく。
言葉の学習	・宇都宮市と比べて平均正答率は約3%上回った。文の構成(連用修飾語)についての問題は28.1%と低かった。	・授業の中で、文の中での主語、述語、修飾語にあたる言葉、修飾語についてはこの言葉をくわしく説明しているのかを確認しながら、それらの定着を図っていく。
物語の内ようを読み取る	・宇都宮市と比べて平均正答率は約2%上回った。	・物語を読み取る授業では、登場人物の気持ちや場面情景が書かれている部分に線を引ながら文章を読むようにさせる。朝の読書タイムや読み聞かせを活用したり、授業の中で本を紹介し物語に触れる機会を多くしたりして、読解力の向上を図る。
せつ明文の内ようを読み取る	・宇都宮市と比べて平均正答率は約3%上回った。目的や必要に応じて、文章の内容を読み取る問題については、34.4%と低かった。	・段落の要点をまとめたり、段落相互の関係を考えたりしながら、筆者の主張を読み取らせ、説明的文章の読解力の向上を図っていく。
ポスターと話し合いの内ようを読み取る	・宇都宮市と比べて平均正答率はほぼ同等であった。資料を読み取って、適切な言葉を使って文を書き直す問題については、37.5%と低かった。	・読み手を意識した、読み手に分かりやすい文、目的に応じた文章が書けるように、普段からそれらに注意させながら文を書くようにさせる。
作文	・宇都宮市と比べて平均正答率は約5%上回った。	・指定された長さで書いたり、段落を意識して改行したりすることが苦手な児童が多いので、意図的に書くことを取り入れていく。各自が推敲できるように、推敲のスキルも引き続き指導していく。